

採集した2個体のうち、1個体が長翅型(図1)であった。長翅型の形態および体表構造は Yoshitomi & Nakajima (2012), 林 (2019) と概ね一致した。短翅型では上翅肩部の肩部が丸くなっているのに対し、長翅型では肩部が角ばり、発達した後翅が確認された(図3, 4)。図4の後翅は解剖中に破損した可能性があり、一部欠けた状態になっている。また、翅多型が存在するハガマルヒメドロムシ *Optioservus hagai* Nomura, 1958 では前胸の変形が知られているため(Kamite, 2015), 前胸の計測を行ったが、前胸の幅/前胸の長さ(PW/PL)の比は1.20で Yoshitomi & Nakajima (2012) で知られている1.13–1.50の範囲に収まり、変形は確認できなかった。

*Sinonychus* 属はこれまで短翅型の個体しか知られていなかった。国外産 *Sinonychus* 属の産地の状況は不明であるが、日本産 *Sinonychus* 属のキュウシュウカラヒメドロムシおよび、サトウカラヒメドロムシは、中島ら(2020)によると産地は局所的で、稀な種とある(サトウカラヒメドロムシでは産地はかなり局所的で、個体数も少なく稀な種とある)。以上の理由からこれまで得られた個体数が他の翅多型の知られているヒメドロムシ科甲虫よりも少なく、長翅型が得られなかった可能性がある。現時点では長翅型の出現率は不明であるが、ヒメツヤドロムシ *Zaitzeviaria brevis* (Nomura, 1958) の長翅型の出現率が3%であることが報告されており(Hayashi & Yoshitomi, 2015), これよりも低い可能性がある。

末筆であるが、本稿を作成するにあたり、ホシザキグリーン財団の林成多博士には、本種に関する種々の情報の御教示、資料の提供および原稿の校閲を頂いた。横浜国立大学の齋藤英明氏、岐阜大学の保坂慎太郎氏、京都大学の木村楓氏には調査に同行して頂いた。以上の方々に対し厚く御礼申し上げる。

## 引用文献

- Brown, H. P., 1987. Biology of riffle beetles. Annual review of entomology, 32 (1) : 253–273.  
 築島基樹, 2016. 久留米市高良内町および青峰に生息するヒメドロムシ科. KORASANA, (84) : 21–23.  
 Elliott, J. M., 2008. The ecology of riffle beetles (Coleoptera: Elmidae). Freshwater Reviews, 1 (2) : 189–203.  
 林 成多, 2019. ヒメドロムシ科成虫の微細構造の観察. キュウシュウカラヒメドロムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (22) : 109–118.  
 Hayashi, M., & H. Yoshitomi, 2015. Endophallic structure of the genus *Zaitzeviaria* Nomura (Coleoptera, Elmidae, Elminae), with review of Japanese species. Elytra, Tokyo, n.s, 5: 67–96.  
 Jäch, M. A., & D. Boukal, 1995. Elmidae: 2. Notes on Macronychini, with description of four new genera from China. In Jäch, M. A., & L. Ji (eds.), Water Beetles of China, 1: 299–323. I. Zoologisch-Botanische Gesellschaft & Wiener Coleopterologenverein, Wien (410 pp.).  
 Kamite, Y. 2015. Revision of the genus *Optioservus* Sanderson, 1953,

part 2: The *O. maculatus* species group. Koleopterologische Rundschau, 85: 197–238.

- 中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富博之, 2020. ネイチャーガイド日本の水生昆虫. 351 pp. 文一総合出版・東京.  
 吉富博之, 2012. キュウシュウカラヒメドロムシの追加記録. さやばねニューシリーズ, (8) : 26.  
 Yoshitomi, H., & J. Nakajima, 2007. A new species of the genus *Sinonychus* (Coleoptera, Elmidae) from Japan. Elytra, Tokyo, 35: 96–101.  
 Yoshitomi, H., & J. Nakajima, 2012. A new species of the genus *Sinonychus* (Coleoptera, Elmidae) from Kyushu, Japan. Elytra, Tokyo, n. s, 2: 53–60.

(吉田 匠 390–0802 長野県松本市旭 3–1–1  
 信州大学理学部理学科生物学コース)

## 【短報】沖縄島におけるアマミクイロクシコメツキの記録

アマミクイロクシコメツキ *Melanotus nodai* Arimoto, 2011 は、これまでに奄美大島と久米島に生息することが知られていたが(Arimoto, 2011; 鈴木, 2019), その間を埋める島々からの記録はなかった。筆者らは、これまでに記録がなく、その生息の可能性が指摘されていた沖縄島産の個体を検することができたので、ここに報告しておきたい。なお、標本は、鈴木が保管している。

1 ♂, 沖縄県国頭郡大宜味村上原, 22. III. –3. IV. 2020, 堀口徹・鈴木互採集; 1 ♂, 沖縄県国頭郡国頭村比地, 22. III. –3. IV. 2020, 堀口徹・鈴木互採集; 1 ♂, 同地, 3–8. IV. 2020, 鈴木互採集; 6 ♂♂, 沖縄県国頭郡大宜味村浜, 22. III. –3. IV. 2020, 堀口徹・鈴木互採集; 1 ♂, 沖縄県名護市名護岳, 3–8. IV. 2020, 鈴木互採集。

## 引用文献

- Arimoto, H., 2011. Notes on elaterid beetles (Coleoptera, Elateridae) from East Asia (III) : A new species of the genus *Melanotus* from Ryukyu Islands, southwest Japan. Elytra, New series, 1: 81–84.  
 鈴木 互, 2019. 久米島から採集された興味あるコメツキムシ5種. さやばねニューシリーズ, (36) : 70–73.

(鈴木 互 211–0031 川崎市中原区木月大町 6–1  
 法政大学第二高等学校生物科)  
 (堀口 徹 377–0007 渋川市石原 1197–4)